

門田副委員長（自民会議）

平成 27 年 3 月 4 日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）「高等学校課題発見・解決学習推進プロジェクト」の推進について

来年度，このプロジェクトを試行的に進めていく上で，教育委員会が一定の指針を示したりすることなどなく，各学校において校長や教員が，どこに課題があるのかを発見し，自らが課題を解決するような取組にしていかなければならない。

このプロジェクトは，学校が主役であり，教育委員会はそれをサポートする姿勢でなければならないと思うし，学校側もそういう姿勢で参画してほしい。

学校には，これまでの取組の成果の積み重ねもあり，これらの成果を踏まえて，各学校が，それぞれの取組を考え，実行していくことが，当然のことであると考えているが，教育長の所見を伺う。

（答）

本事業は，各学校が，自校の生徒の学びの状況を把握し，生徒が主体的に課題を発見し解決していくことができる力を身に付けるための教育内容や方法などについて研究を行っていくものでございます。

この取組を実効あるものとするためには，各学校の管理職のみならず，教員一人一人がこの事業の趣旨を理解し，主体性をもって関わるのが大切であると考えております。

教育委員会といたしましては，各学校が，本事業の趣旨を踏まえ，これまで積み重ねた成果を生かし意欲的に取り組んでいけるよう，積極的に支援をしてみたいと考えております。